

10月9日は「湖南省市防災の日」

災害が起こる前にできること

☎ 71・2311 FAX 72・2000
 危機管理・防災課(東庁舎)

宝暦6(1756)年10月9日に発生した「妙感寺流れ」と呼ばれる大災害が発生しました。市では、この日を「湖南省市防災の日」として条例で定めています。

平成7年の阪神・淡路大震災以降、近年では平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震、鳥取県中部地震、今年の九州北部豪雨などの災害が全国で発生し、大きな被害をもたらしています。

災害はいつ私たちが襲ってくるかわかりません。災害時に被害を最小限に抑えるためには、自分の身を守る「自助」、身近な人や地域で支え合う「共助」が重要です。



自助の取り組み

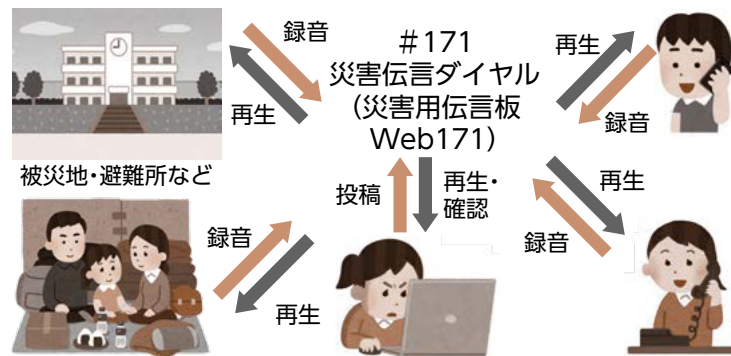
災害に対しては、まず自分の身を守ることが重要です。あらかじめ、災害時にどう行動するかを決めておきましょう。

○家族との連絡方法確認

災害時に家族と合流できるように、あらかじめ集合場所や連絡方法を決めておきましょう。災害用伝言ダイヤルの利用方法も確認しておきましょう。

○災害用伝言ダイヤル

留守番電話のようにメッセージを残すことができます。災害発生時に開設され、「171」番に電話をかけることでつながります。パソコンやスマートフォンなど、インターネット接続が可能な端末から災害用伝言ダイヤルと相互に利用できる「災害用伝言板(Web171)」もあります。



共助の取り組み

自助で当面の安全を確保できた後は、避難生活や復旧・復興のため、地域でのつながりが重要になります。

平成7年の阪神・淡路大震災

○避難所の確認
 区、自治会などの地域の一時避難場所、市の指定避難所に加え、避難経路もあわせて確認しておきましょう。



ホームページはこちら

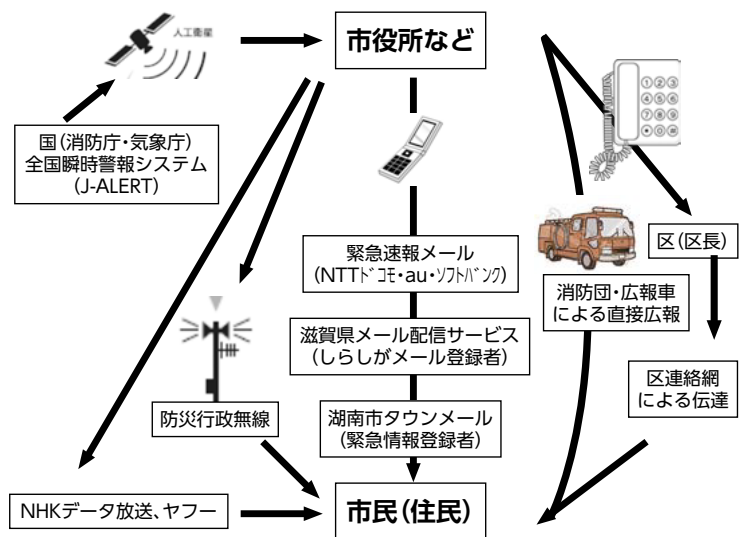


に関する調査によると、地震によって倒壊した建物から救出された人の約8割が家族・隣人などに救出されました。長期に渡る避難生活では、「避難者同士の助け合いが必要不可欠である」と共助の重要性が見直されるようになりました。

地域の防災リーダーとしての役割を担う防災士は、市内43区全てにいます。地域の防災力向上のため、自主防災組織、防災士などと連携を図り、普段から地域の防災計画作成や訓練を実施などで、災害に備えておきましょう。

皆さんも日頃からあいさつを交わすだけでなく、清掃活動、防災訓練をはじめとする地域活動に積極的に参加し、地域を自分たちで守るための行動や備え、顔の見える関係づくりをしておきましょう。

災害時の市からの情報伝達



- 現在、市で整備している情報伝達手段には次のものがあります。
- ・市内に88か所ある防災行政無線(聴覚障がい者への文字表示装置)
 - ・携帯電話(NTTドコモ・au・ソフトバンク)に避難情報が強制的に送信できる緊急速報メール(エリアメール)
 - ・湖南タウンメールの緊急情報(登録者のみ)
 - ・消防団車両や市の広報車による呼びかけ
 - ・区(自治会)への緊急連絡網による直接連絡
 - ・滋賀県メール配信サービス(しらしがメール登録者のみ)
 - ・NHKデータ放送、ヤフーなど

湖南タウンメールの登録はこちら↓



※湖南市はドコモショップ甲西店・auショップ甲西・オレンジPark湖南・ソフトバンク甲西と協定し、湖南タウンメールの利用に向けて連携・協力を図っています。

11月1日(水)、14日(火)にJアラート訓練を行います

国や気象庁では、緊急地震速報や武力攻撃事態に関する全国的な訓練を計画しています。

当日、湖南市では、全国瞬時警報システム(Jアラート)からの情報を受けて、防災行政無線による一斉放送や湖南タウンメールの配信などを実施しますので、ご理解ご協力をお願いします。

※実際の災害などと間違えないようご注意ください。

※気象・地震活動その他などの状況で訓練を中止することがあります。

■日時

- 緊急地震速報訓練

11月1日(水)午前10時頃

- 国民保護情報に関する情報伝達訓練

11月14日(火)午前11時頃

危機管理・防災課(東庁舎)

☎ 71・2311 FAX 72・2000

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
 武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html



首相官邸
 ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
 首相官邸災害・危機管理情報
 @Kantei_Saigai



Jアラート(例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに屋内に避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外にいる場合
 できる限り頑丈な建物や地下に避難する。

地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物がない場合
 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合
 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。